

2026年リビジョンヒストリ

株式会社ノーツアンドクロス
〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂5-16-17
電話 0465-25-3974 Fax 0465-25-1351
http://www.tracepro.jp

TracePro リビジョンヒストリ

TracePro 2026 リリース（バージョン 26.4）

- * **新機能：** `.tracepro` ファイルを開く際やプロパティをインポートする際のプロパティ上書き応答を設定する Scheme コマンド `tracepro:set-db-confirm-overwrite-response`、およびその応答をクリアしてデフォルトの挙動に戻す `tracepro:clear-db-confirm-overwrite-response` を追加しました。 – T7321
- * **アップデート：** プロパティレポートを表示した状態でイメージソースを変更した際に、原因不明の例外スローが発生する不具合を修正しました。 - T7356
- * **アップデート：** CODE V モデルのガラスデータのインポートに対応しました。 - T7345
- * **アップデート：** テクニカルサポートのヘルプページにある住所情報を修正しました。 - T7340
- * **アップデート：** イントロダクションページの冗長な段落を削除し、ジオメトリコマンドの説明を更新しました。 - T7333
- * **アップデート：** セクションビュー（断面ビュー）について解説するヘルプページを追加しました。 - T7328
- * **アップデート：** インタラクティブオプティマイザーにおいて、相対設計変数を使用している際に文字列から倍精度浮動小数点数への変換で未処理の例外が発生する不具合を修正しました。 - T7235

TracePro 2026 リリース（バージョン 26.3）

- * **新機能：** レンダリングされたビューを任意の平面で実質的にカットする「セクションビュー（Section View）」機能を追加しました。 – T2325
- * **新機能：** 他の Scheme コマンドで変更を加えた後にソースツリーを更新するためのマクロコマンド (`view:reload-source-tree`) を追加しました。 – T5457
- * **アップデート：** プライベートガラスデータを含む Code V ファイルをインポートする際、波長が nm から um に変換されない不具合を修正しました。 - T7332
- * **アップデート：** STEP エクスポートおよびインポートにおいて、オブジェクトに適用されたカスタムカラーが適用はされているものの表示されない不具合を修正しました。 - T7327
- * **アップデート：** インタラクティブオプティマイザーを使用して作成したレンズを `.omlb` または `.tracepro` ファイルに保存すると、データが破損する不具合を修正しました。 - T7322
- * **アップデート：** トーリック（Torus）表面を持つレンズに関して、(1)エッジ付近の光線が表面をすり抜ける光線追跡エラー、および(2)トーリックオブジェクトの表示に一致するようエッジ光線付近で正しく追跡される際に誤ったリップルが表示される表示エラーを修正しました。 - T7320
- * **アップデート：** シーケンスエディタがシーケンスをファイルに保存しない不具合を修正しました。 - T7317

- * **アップデート：** 検索結果からのマクロリファレンスのリンク切れを修正しました。 - T7312
- * **アップデート：** 「パーツの挿入（Insert Part）」および STEP ファイルを使用すると、現在の TracePro モデル内の他のパーツの名前が変更されてしまう不具合を修正しました。 - T7306, T7273, T6967
- * **アップデート：** スムージングが有効な 3D 放射照度マップが正しく表示されない不具合を修正しました。隣接するピクセルの色がピクセルの輪郭（コントアリング）に影響を与えていなかった問題を解消しました。 - T7303
- * **アップデート：** モデルに表面ソースプロパティが適用されている状態でプロパティレポートを保存する際に発生する例外エラーを修正しました。 - T7294
- * **アップデート：** HOYA（OHARA）のガラスカタログを更新しました。 - T7292
- * **アップデート：** 放射照度マップにおいて、フラックスが吸収されていないにもかかわらず面の吸収フラックスが表示されてしまう不具合を修正しました。このマップは吸収光線ではなく（ビューアに入射する）出射光線を表示していました。この現象は、順方向光線追跡の放射照度マップを現在のオプションで表示している状態で、最後にオプションを変更した際の表示が逆方向光線追跡のマップであった場合に発生していました。 – T7292
- * **アップデート：** 出力ウィンドウに書き込まれるエラーメッセージ「`ERROR: Geometric Modeler: The Object of the ID is NULL., fluxview.cpp, 894`」を修正しました。これは、シミュレーション光線追跡の放射照度マップを表示中に選択を解除した際に発生していました。 – T7291
- * **アップデート：** トレースプロ LC（TracePro LC）でオクツリー（Octree）ボクセルが機能しない不具合を修正しました。 – T7290
- * **アップデート：** 「レンズ要素の挿入（Insert Lens Element）」ダイアログの位置タブにおけるラジアン単位の傾き角度の入力処理を修正しました。入力値が常に度（degrees）単位として解釈されていた不具合を解消しました。 – T7287
- * **アップデート：** シーケンスエディタにおいて、OSLOファイルを読み込む際に第2面の傾きが読み込まれずUIに表示されない不具合を修正しました。 - T7282
- * **アップデート：** インポートした ACIS の `.sat` ファイルが破損したジオメトリ（表示および光線追跡）になる不具合を修正しました。 - T7280
- * **アップデート：** フラックスレポートの表示中にキーボードの Page Down ボタンを押すと、処理に時間がかかり何も変更されていないように見える現象を修正しました。実際にはドロップダウン内の「波長選択（Wavelength Selection）」が変更されていました。フラックスレポート表示時はグリッドコントロールにフォーマット入力フォーカスが当たるようになり、Page Down、Page Up、Home、End、ctrl-Home、ctrl-End の各キーボードボタンに応答するようになりました。グリッドコントロールは現在、プロパティレポート、入射光線

テーブル、光線履歴、パスソートテーブルでも入力フォーカスを持つようになります。 – T7274

- * **アップデート：** 表面プロパティジェネレータにおいて、SPEOS の `.anisotropicbsdf` OPTIS v7.0 バイナリファイルのインポート時にクラッシュする不具合を修正しました。 - T7262
- * **アップデート：** ソーラーエミュレーターにおいて、トゥルーカラーマップで「生データ（Raw Data）」が選択されている場合に「未処理の例外...値 xxx は有効ではありません（0 から 255 の間である必要があります）」が発生する不具合を修正しました。 - T7258
- * **アップデート：** コマンド `analysis:candela-normal vec` が矩形アイソカンデラプロットを更新しない不具合を修正しました。 - T7250
- * **アップデート：** 面を回転させると意図しないワイヤーボディが作成される不具合を修正しました。 – T7240
- * **アップデート：** 「レンズ要素の挿入」の「位置（Position）」タブにおいて、アパチャーに偏心（decenter）がある場合に第2面の偏心および傾きのフィールドが無効になってしまう不具合を修正しました。 – T7228
- * **アップデート：** ファイルソースにおいて、同じ光線ファイルが同じ指定場所でない複数のインスタンスがある場合、それぞれに応答する必要があり、すべてのインスタンスに1つの応答が認識されるようにしてほしいという要望に対応しました。 - T7224
- * **アップデート：** 極座標アイソカンデラプロットにおいて、単位を放射測定単位（radiometric）から mcd や cd に変更しても正しく更新されない不具合を修正しました（回避策：単位を cd から mcd にトグル切り替えする）。 – T7173
- * **アップデート：** OSLO トランスレータにおける不正しい向きを修正しました（TracePro Mirror 2 が OSLO Surface 10 と一致していなかった問題）。 – T7170
- * **アップデート：** インタラクティブオプティマイザーの最適化の第4イテレーションにおいて、`Edit:Boolean-Intersect` が正常に完了しない不具合を修正しました（`.io2` 内の孤立した変数、「TraceProへ送信」が失敗する問題）。 – T7155
- * **アップデート：** シルエットエッジモードでシルエットエッジが表示されない、プリミティブシリンダーでシルエットエッジが欠落する、球体のシルエットエッジが不正になる不具合を修正しました。 - T6323, T6322, T6198
- * **アップデート：** サーフェスにカスタムカラーが適用されている場合、オブジェクトに適用された透明度が無視されてしまう不具合を修正しました。 - T5929, T6686

- * **アップデート：** RayViz から OML ファイルを開いたときに SolidWorks の色が失われる不具合を修正しました。 - T5931
- * **アップデート：** 第2面の半直径が第1面と異なる場合のいくつかの問題を修正し、この場合に第2面の偏心と傾きを設定する際の制限を解除しました。 – T4865
- * **アップデート：** KOSMOS 8.0.17985 に更新しました。

TracePro 2026 リリース（Version 26.2）

- * **新機能：** すべてのオブジェクトの表示を非表示にする「すべて非表示（Hide All）」をビューメニューに追加しました。対応するマクロコマンドは `view:hide-all-objects` です。 – T7248
- * **新機能：** 「分析（Analysis）| 光線カラー（Ray Colors）」で設定できる光線カラーに関するすべての設定を行う `analysis:set-ray-colors` を追加しました。
- * **アップデート：** `.TracePro` ファイルの「パーツの挿入（Insert Part）」で、システムツリーにはオブジェクトが追加されるものの表示に追加されない不具合を修正しました。 – T7272
- * **アップデート：** 多くのオブジェクトが含まれる `omlb`/`oml`/`tracepro` ファイルを開く際のパフォーマンスが非常に低下し、TracePro がフリーズしたようになる現象を修正しました。 – T7271, T6554
- * **アップデート：** TracePro が 1.4 MB のメモリを使用している場合に、コーティング DLL を使用した LamScalarCast でアサーション失敗が発生する不具合を修正しました。 – T7265
- * **アップデート：** 分析ツールキットにおいて、極座標アイソカンデラプロットから開いた際に「未処理の例外...入力文字列の形式が正しくありません」が発生する不具合を修正しました（回避策：矩形アイソカンデラ、矩形カンデラ分布、極座標カンデラ分布を使用する）。 – T7259
- * **アップデート：** システムツリー内のサーフェスソースにおける小さな放射照度値の不正確な表示を修正しました。 – T7253
- * **アップデート：** 「ジオメトリ（Geometry）| レンズ要素（Lens Element）」において、第2面の傾きや偏心の x または y が設定されている場合に第2面の傾きと偏心が無効になる不具合を修正しました。 – T7245, T7236
- * **アップデート：** `geometry:sweep-along-path` を面に対して使用するとアサーション失敗が発生する不具合を修正しました。 – T7241
- * **アップデート：** 面の回転（revolving）のマクロを記録する際に、`edit:surface-revolve` が 2 回記録される不具合を修正しました。 – T7239
- * **アップデート：** シルエットモード表示と、ライティングが有効な 3D 放射照度マップの表示、またはモデルに表示された画像ソースが含まれている場合の、エラー（`ERROR: stack underflow: LKcm2OpenGL:

:CallDisplayLists, LKcm2OpenGL.cpp, 1460`）を修正しました。 – T7222

- * **アップデート：** レンズとプレートのブール結合において、`CTraceProDoc::OnEditBooleanUnite` が正常に完了しない不具合を修正しました。T7217
- * **アップデート：** Scheme コマンドが光線カラーを変更したときにダイアログを更新するようにしました。
- * **アップデート：** KOSMOS 8.0.17260 に更新しました。– T7272
- * **アップデート：** ヘルプの更新：シーケンスエディタの欠落しているトピックの追加、およびビューコマンドの文法、フロー、画像の追加・修正を行いました。

TracePro 2026 リリース（Version 26.1）

- * **新機能：** シーケンスエディタに、ダブレットをシングレットに分割する機能と、シングレットをダブレットに統合する機能を追加しました。
- * **新機能：** シーケンスエディタが自動的にストップ（絞り）を生成し、それを次のレンズのアパチャーにリンクできるようになりました。
- * **アップデート：** `CTraceProApp::InitInstance` の例外や「`ERROR: System::Exception: Method not found:'Microsoft.Extensions.Logging…`」を回避するための TracePro 起動・初期化処理の変更を行いました。– T7219, T7175, T7172, T7153, T7147, T7125
- * **アップデート：** OpenGL のエラーがコマンドウィンドウに表示されるようになりました。 – T7222
- * **アップデート：** Y 曲率が 0 の ISO X-Toric レンズ表面を作成する際の errores を修正しました。 – T7221
- * **アップデート：** 表面プロパティの CGH タイプ（係数）において、プロパティを保存し、`.tracepro` を保存、モデルを閉じてから再度 `.tracepro` を開くと、係数が小数点以下 6 桁に丸められてしまうエラーを修正しました。 – T7193
- * **アップデート：** シーケンスエディタの光線追跡からゼロ距離の空気間隔を削除することにより、単レンズからの連続する面の処理を改善しました。 – T7192
- * **アップデート：** 「ウィンドウ（Window）| 更新（Refresh）」で「自動更新（Auto Update OFF）」のときに、ヘルプではアクティブなウィンドウのみを更新すると示されているにもかかわらず、開いているすべての分析ウィンドウが更新されてしまう不具合を修正しました。 – T7191
- * **アップデート：** 「パスソートテーブル（Path Sort Table）」で「自動更新（Auto Update OFF）」のときに、サーフェスが選択されると誤って更新されてしまう不具合を修正しました（副次的な問題として、該当するサーフェス名が表示されない問題も修正）。 – T7190

- * **アップデート：** 非対称ゼルニケ面を持つレンズでの光線追跡エラーを修正しました。 – T7183
- * **アップデート：** パスソートテーブルウィンドウのソースリストにおいて、「すべて（All）」がリストの最初のアイテムになり、デフォルトで選択されるように変更しました。 – T7169
- * **アップデート：** イタリア語版 - プリミティブソリッドダイアログ - 薄板（Thin Sheet）タブが翻訳されていなかった問題を修正しました（5タブ中4タブのみ翻訳されていた問題）。 – T7122
- * **アップデート：** TracePro ユーザーマニュアル - マテリアルプロパティ - ドキュメントの (1) オブジェクト外の屈折率、および (2) 光学ガラスデータ対 STP についての記述を更新しました。 – T6212
- * **アップデート：** TracePro ヘルプ：ビューコマンドの文法、フロー、画像の更新、および「更新」ページの更新を行いました。
- * **アップデート：** 「レンズ要素の挿入」ダイアログにおける「第2面直径の違い」の処理を改善しました。
- * **アップデート：** 光線カラーダイアログに関する複数の不具合を修正しました。
- * **アップデート：** RayViz からの光線カラーとオプションのインポートに対応しました。
- * **アップデート：** 幾何モデリングカーネルを KOSMOS 7.1.16802 に更新しました。